

図書館と英語と私

電子情報通信工学専攻修士生
春日 貴章



私は専攻科に入学してからの2年間、図書館でアルバイトをさせていただきました。2人の兄も同じくアルバイトをしていたため、兄弟で合わせて5年以上働いたことになり、非常に思い出深い場所になりました。

元々英語が非常に苦手だった私でしたが、英語を克服するきっかけになったのが図書館にある多読用の本や漫画、洋楽のCD、洋画のDVDでした。私が英語の勉強を始めるに当たってまず大切にしようと思ったことは、「継続すること」です。私にも経験がありますが、例えば「TOEICでハイスコアを取ろう!」と考えたとき、まずTOEICの問題集やテキストを手取るのではないのでしょうか。ですが、私の様な意志の弱い人間は、碌に開かずにテスト当日を迎える事になります。そこで私は、まず何でもいから英語に触れて、英語に慣れることから始

めようと決意しました。幸いにも図書館には英語の漫画やCD、更には英字新聞もあります。一度読んだ事のある漫画は多少英語の意味が分からなくても内容は理解できるので、スイスイ読めます。洋楽も聞くだけでなく誰でもできますし、洋画も字幕付きなら内容は理解できます。英字新聞を眺めていれば、分からなくても少し賢くなったような気がしてきます。私自身こういったことを続けてきましたが、続けていると不思議と少し英語ができるような気になってきます。実際にこれだけで英語力がついたかは疑問ですが、振り返ってみれば、この「できるような気がする」という気持ちがある、その後の上達に繋がったように思います。できる気になってくると、TOEICでもネイティブの方と会話するときでも、不思議と諦めずに取り組むようになりました。そこからはテキストでの学習もそれほど苦ではなくなり、中学時代は英語のテストで半分も取れていなかった私が、TOEICで900点を取れるようになり、複数の海外インターンや国際学会にも参加する事ができました。

どんな事でも楽しんで取り組めば、上達は早いと思います。英語が苦手な皆さんも、まずは楽しんで英語に触れるところから初めてみてはいかがでしょうか。

図書館貸出冊数

平成28年4月～平成29年1月

〈総合〉

種類	高松	詫間	合計
図書	6,575	7,597	14,172
雑誌	75	368	443
C D	1,724	1,006	2,730
合計	8,374	8,971	17,345



〈学科別〉 (対象：図書とCD)

